



Automobiles and Sustainable Mobility



FISITA

2010

World Automotive Congress

30 May - 4 June, Budapest, Hungary

Final Programme and Exhibition Catalogue

Budapest, 30 May - 4 June 2010



www.fisita2010.com

FISITA 2010

World Automotive Congress
旅行記

D2 宮本 亨

開催期間

2010/5/30~6/4

開催場所

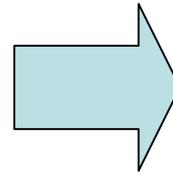
ハンガリー, ブタペスト

ハンガリーで行われた FISITA 2010 World Automotive Congress に参加しましたので、報告いたします



FISITAとは？

FISITA World Automotive Congressは1947年にフランスで最初に開催され、50年以上も前から開催されています。自動車技術に関する国際会議の中で最も歴史があり、最大規模を誇っています。



世界各国から色々な研究者が集まるということで、非常に楽しみにしていましたが、やはり行く前から緊張していました。

一人で海外は不安ですね・・・

今回はConsumption and Emission Reduction
というセッションでポスター発表を行ってきました。

旅の準備！！



一人で行くという不安から、靴底の下に現金を忍ばせていました。これで、ひったくりにあっても大丈夫！

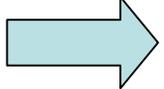
っと思いきや、入国および出国でボディチェック。

ちょっと焦りました……

見るからに不審ですよ。

飛行機でオランダを経由してハンガリー入り！！

やはり、ヨーロッパは遠いです・・・

Narita (日本)  Schiphol (オランダ)  Ferihegy (ハンガリー)

12時間 2時間



ハンガリーに到着



泊まったホテルです！！ネット
上での華やかな外観に引かれ
予約しましたが……

普通のホテルでした。

ハンガリーに到着しましたが、
写真を取る余裕もなくホテルに
直行！

着いたのは夜の10時……
真っ暗です。

地球の歩き方でハンガリーの交
通機関について予習していたの
で、だまされることなく無事到着
できました。

やはり、予習は重要です！

ハンガリー二日目



ELTE University Congress
Center (UCC)
緑が多く、非常に綺麗な大学でした。

二日目は参加登録を済ませ、welcome party に参加しました。下の写真が特別ステージです。ハンガリーの少年が踊っていました。

あまりに寂しかったので、Student congress の学生を捕まえ、酒を飲み談笑！！



ハンガリー三日目



メイン会場

非常に大きな会場. ここでは発表しないので, 一安心.

非常にカッコいい会場でした!!

三日目はオープニングセレモニーに参加し, 各セッションを聞いて回りました.

オープニングセレモニーでは技術革新が必要だと言われておりました. やはり, 非常に危機感があるようです.

オープニングセレモニー



ポスター発表日



セッション会場

ここはC11のような
講義室でした。

PBOIs (Posters with Brief Oral Introduction)

この日はポスター紹介を行い、
いろいろな研究者とディスカッ
ションを行いました。

セッションの後半に、ポスター紹
介の時間が設けられており、そ
こで五分程度発表を行いました。

練習に練習を重ねていましたの
で、発表自体は無事に終わること
ができました！！

この後、本番であるポスター前
でのディスカッションです。
人が来てくれるか不安でした。

ポスター発表日



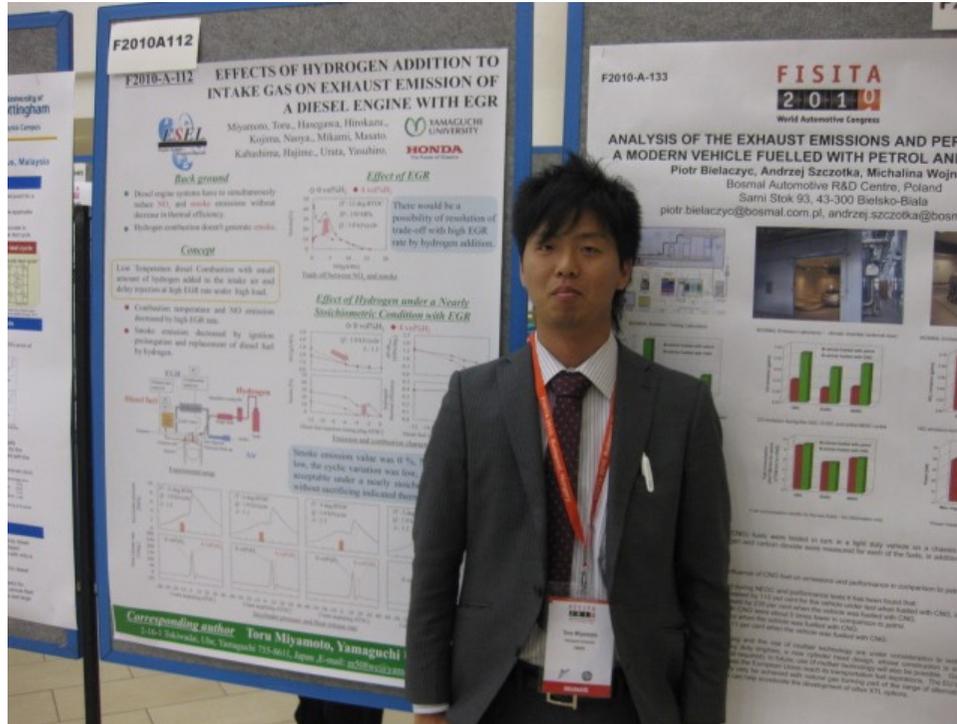
ポスター会場

ポスターの数も非常に多く、
ポスターの作り方にもお国柄！？
が表れていました。
日本人は真面目です。

日本人のポスターは用紙サイズ、
フォントサイズとも規定通りでしたが、
外国の方は・・・

人は来てくれるかな・・・

ポスター発表日



ポスター前での一枚

やはり、不安が的中です！！

ポスター会場にあまり人が立ち寄ってくれません・・・

ポスター会場に来た人には話しかけるように試みましたが、無視されることもしばしば・・・

しかし、興味を持ってくれた方と有意義なディスカッションが出来ましたので、目的を果たせたと思います。

Try to talk !!

この一言に尽きます！！

会場でのランチ



一人寂しく、ご飯が来るのを待っています！

毎日のランチは学会が用意したレストランで食べました！！

結構おいしかったです。

しかし、一人で食べることもあり、寂しいランチもありました。（笑）



展示ルーム

発表会場の横に展示ルームが設けられており、様々なエンジンや自動車が並べられ、モータショーのようでした。エンジニアの方に質問する機会もあり、非常に楽しめました。

各社、色のある展示でした！！

すべてハイブリット車！！
電気の波が来ています。

一方、VWは内燃機関を全面にアピールしていました。



Additional Tour

ピアノ コンサート



教会内の様子

学会のツアーで、ピアノコンサートに参加しました。

パイプオルガンの響きがすごく、圧倒されました。さすがヨーロッパです！！



Gala Dinner

@Museum of fine art



美術館

日本風に言うと,
「学会の飲み会に参加しました。」

飲み会というと品格を問われます
ので, ディナーに訂正します！！

会場は美術館です。
着いた瞬間, 驚きと不安(テーブル
マナー)が交錯しました！！

Gala Dinner

@Museum of fine art



談笑中

会場内に入ると、お酒を渡され、準備が完了するまで、皆さん談笑中！

学会で知り合った人はだれ一人来ておらず、一人で酒を飲み、同じような状況の人を探して回りました（笑）

この時が一番心細い状況でした！

Gala Dinner

@Museum of fine art



ディナー会場

テーブルの座席は決められておらず、好きなところに座るスタイルでした。

この時思ったことは

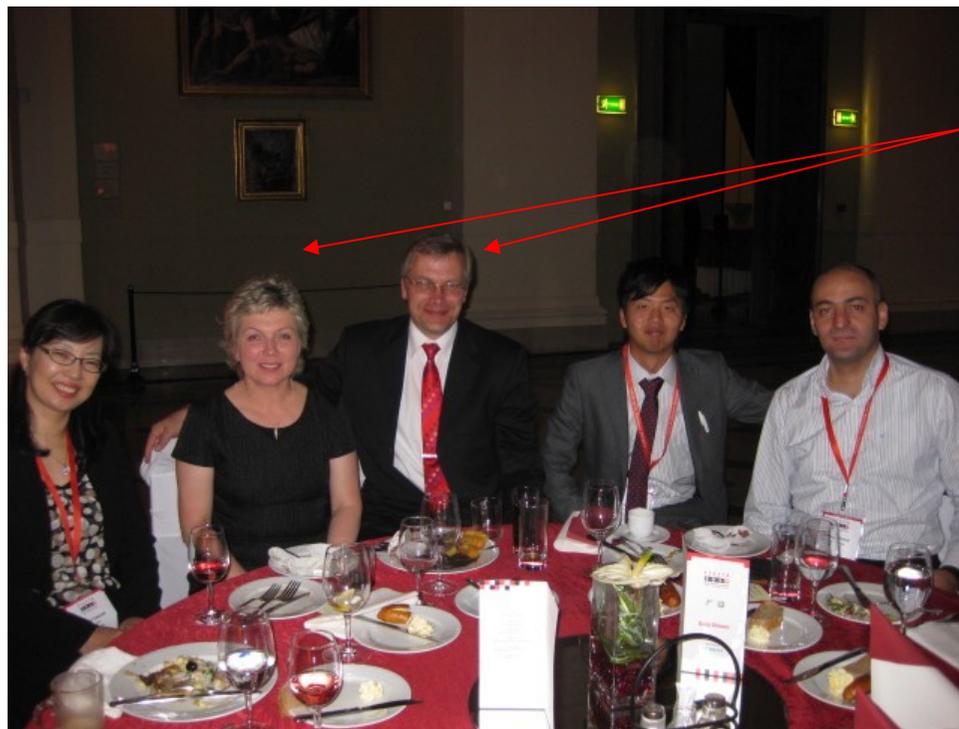
「なんで座席決められてないの？
決めておいてよ！！」

ということです……一人には厳しい洗礼です(笑)

高級感が漂い、場違いな感じがしてなりませんでした。

Gala Dinner

@Museum of fine art



ディナー風景

意を決して着席しました！一番端のテーブルです。

ラトビアから来られたRaitisさんご夫婦の横に座りました。この方、ラトビア自技会の会長さんでした！非常に優しく、ラトビアのことや日本について喋っていました。

娘さんは日本に留学していたそうです。

Gala Dinner

@Museum of fine art



ディナー風景

右隣りはシリア出身，フランス在住のCharbelさんです。

この人は車好きで，レースカーの写真を見せたところ，興奮状態に！

NISSAN GT-Rが大好きだそうです。

最初は不安だったディナーもアツという間に終わり，非常に良い体験が出来ました！フォアグラもおいしく頂きました。

やはりここでも

Try to talk !!

ですね。

Gala Dinner

@Museum of fine art



会場前広場

帰ろうと思い, 学会が用意したバスに乗ったところ, このバスは自分の泊まったホテルには行かないことが判明.

目の前のタクシーで帰ってくれと言われ, 乗ってみたが……

ダメサレタ……

料金メーターの上がり方が尋常じゃない. メーターはシフトを3速, 4速に入れると見えなくなった!

知らない町で降りるに降りられない……

Gala Dinner

@Museum of fine art



会場前広場

到着したが、相場の倍！！

交渉したが下がらない……偽物の
タクシーだと思い

頭にきた私は

「You are fake!!」

と言ってしまった……

ドライバーの顔が曇り、殺されると
マズなので、お金を払って逃げまし
た。

皆さん絶対に言わないように！

ハンガリーでの夕食1

毎日の夕食ですが、ホテルの中にレストランがあり、ハンガリー料理を毎日食べていました！味は日本人に合います！

グヤーシュという煮込み料理



ハンガリーでの夕食2

毎日の夕食ですが、ホテルの中にレストランがあり、ハンガリー料理を毎日食べていました！味は日本人に合います！

ハンガリーは大量のジャガイモが絶対添えてあります。



ハンガリーでの夕食3

学会で知り合った学生と一緒に夕食！！

ステーキと思って頼んだものが生のハンバーグみたいな料理……

味は……

次の日お腹が心配でしたが、大丈夫でした。

やはり、ここでも

Try to eat !!

これに尽きます！



ブタペストの町の風景

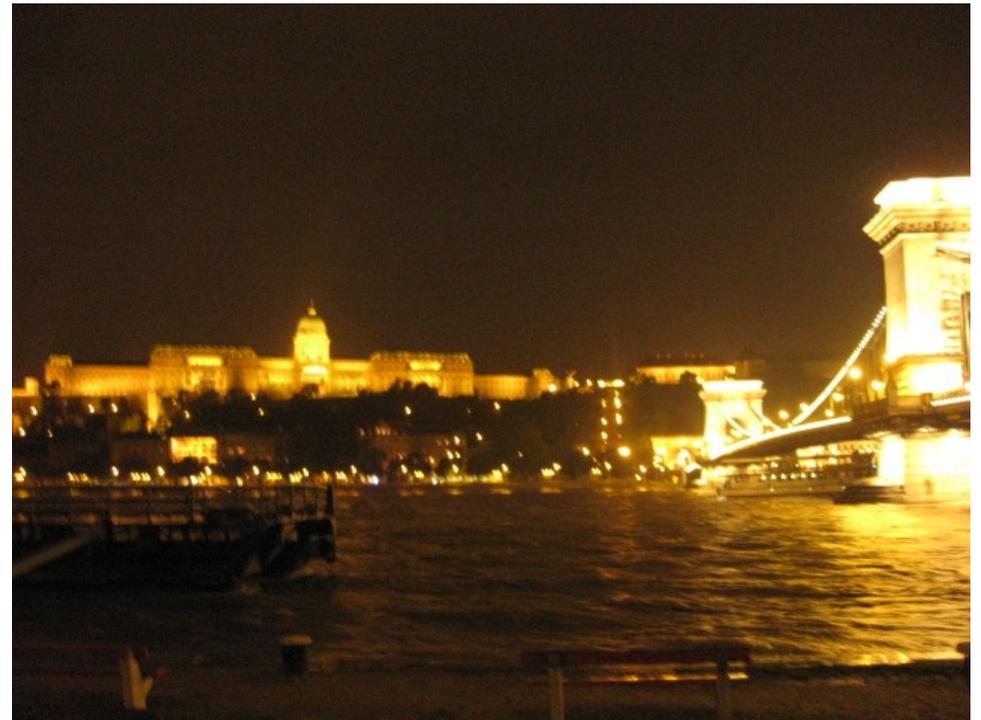


王宮とくさり橋の共演



ブタペストの町夜の風景

夜は非常に綺麗で、幻想的でした！学会会場とホテルの行き帰りはシャッターチャンス満載でした！！



ドナウ川の氾濫

滞在中，天気が悪く大半は雨で，
雨時々曇りの状態でした！！

情緒あふれるドナウ川も荒れ狂い，
反乱寸前・・・

ほんとうに災害が起こっていました。



帰国

長い旅も終り, 再びオランダ経由
で帰国しました.

ハンガリーは非常に良い国でした.

ご飯もうまい!

物価も安い!

人も優しい! ? ダマサレタけど...

もう一度, 行きたくなる国でした.



ハンガリーでのチェックイン
ごった返してました...

まとめ

今回、ハンガリーに行き、発表し気付いたことは日本人の学生が少なかったことです。東南アジアや中国の学生が非常に多く、勢いを感じたのも事実です。このままでは日本は沈没してしまうのでは？と行ってしまいました。やはり、内向き志向を打破する必要があります。私のように海外に行くチャンスがあるならそのチャンスを逃さず掴み取ることが大事だと思います。一度海外に行けば免疫もでき、最終的に慣れてしまえば恐れることはなくなります。よって、研究室の学生には今のうちに多くの経験(失敗含め)をしてほしいと思います。

最後にもう一度

Try!!

この言葉良いですね！！

おわり